

横浜市の林文字子市長は11日の定例会見で、市を内外にPRするため全日空（ANA）とのタイアップ事業を行うと発表した。全日空は21日に新型機ボーイング787による羽田ーフランクフルト線が就航するのを記念し、フランクフルト市とパートナー都市関係にある横浜市や地元企業と協力。横浜の魅力を内外に発信し、集客につなげる。

フランクフルト発羽田行きの便（エコノミークラス）では、横浜銘菓「ありあけ・横濱ハーバー」計約1千個が、製造販売元の「ありあけ」（横浜市）か

## 横浜市、ANA機内でPR

ら3月末まで無償提供される。機内誌で横浜市のイベントを紹介するほか、羽田空港の全日空国際線ラウンジには市をPRするパネルを設置する。横浜に関連した機内食の提供や映像上映も検討しているという。

### フランクフルト線

林市長は「フランクフルト市から来日する乗客の皆様には横浜市とフランクフルト市の絆をアピールでき、大変ありがたい」と話した。全日空の長瀬真副社長は「フランクフルトと横浜が近い関係になるお手伝いができ、うれしく思う」と述べた。



タイアップ事業を発表した横浜市の林文字子市長（中央）と全日空の長瀬真副社長（右）、ありあけの堀越隆宏社長。11日、横浜市役所